

MLB教育について

SOS の出し方に関する教育

基本理念（目指す方向性）

- ◎ 子どものレジリエンス（心の回復力）を高める
 - ・ 日常的に起こる小さな困難を乗り越える力を育む
 - ・ ストレスに対処する力、怒りをコントロールする力を育む
- ◎ SOSを出すことができる子どもを育成する
 - ・ 困った時に信頼できる人に助けを求める力を育む
 - ・ 友人から相談を受けた時に、信頼できる大人につなぐ力を育む

 SCと連携した授業で
 【MLB教育】
 (MLB: Making Life Better)

- 担任（T1）、SC（T2）による授業
- 小学校5、6年生 } で実施
- 中学校1、2年生 }
- ※ 事前準備
 - SCによる教員対象の研修実施
- [内容]
 - 小学校5年生
 - ・ こころが苦しい時の対処（ストレスマネージメント）
 - 小学校6年生
 - ・ アンガーマネジメント
 - 中学校1年生
 - ・ ストレスマネージメント
 - 中学校2年生
 - ・ 深刻な悩みを聞いたときの対応（友人の危機への対応）
- ※ 相談機関の紹介（全学年）
- 高等学校1年生
 - ・ 深刻な悩みを聞いたときの対応（家出をしたいと訴える友人の危機への対応）
- 高等学校2年生
 - ・ 深刻な悩みを聞いたときの対応（SNS で死にたいと訴える友人の危機への対応）
- ※ 高等学校は、令和6年度から実施

各教科の授業の中で

道徳（※ 学習指導要領から）

- 小学校
 - D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。
 - [生命の尊さ]
 - [よりよく生きる喜び]（第5学年及び第6学年）
- 中学校
 - D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。
 - [生命の尊さ]
 - [よりよく生きる喜び]
- 心の参観日
 - ・ 看護師による授業

保健体育（※ 学習指導要領から）

- 小学校 体育（G保健）
 - (1) 心の健康
 - A 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。
- 特別支援学校 小学部 体育（G保健）
 - 3段階 健康な生活に必要な事柄
 - イ 健康な生活に必要な事柄について工夫するとともに、考えたことや気付いたことなどを他者に伝えること。
- 中学校 保健体育（保健分野）
 - (2) 心身の機能の発達と心の健康
 - A 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。
- 特別支援学校 中学部 保健体育（H保健）
 - 2段階 健康・安全に関する事項
 - イ 自分やグループの健康・安全についての課題を見付け、その解決のために友達と考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えること。

日常的な学校生活の中で

子どものレジリエンス（心の回復力）の育成

- 行事等での達成感
- ボランティア活動～人に感謝する心や奉仕の喜び
- 日常の問題解決の経験
- 個々の“強み”を意識
- 基本的な生活習慣の確立・維持
- 日々の係り活動や家庭での役割の遂行
- 規則的な運動習慣

SOSを出すことができる子どもの育成

- 子どもの人間関係づくり推進プログラムの実施
 - 協同学習、コミュニケーション活動・相談活動、ピア・サポート的交流活動、ライフスキル教育
- ライフスキル教育で学んだスキルを日常生活で活用
- 教育相談の実施
- 生活アンケート（いじめのアンケート）の実施
- ※ 「相談したらいいことがあった」という体験